

甘日市市の子どもたちを応援!

発行6団体の活動紹介

甘日市市公衆衛生推進協議会

会長 / 今津俊昭
主な活動 / 保健衛生・環境保全
甘日市市住吉二丁目 2-16
甘日市市民活動センター内
☎0829-31-0040



子どもたちと育てる身近な自然

甘日市市公衆衛生推進協議会(公衛協)の活動テーマの一つである学社融合(次世代を担う子どもたちと一体になった活動)の観点から、公衛協宮園地区連絡会は、ふるさと宮園ビオトープの会(楠木仁義会長)と連携しています。

この度、全国学校・園庭ビオトープコンクール2019において、受賞されましたので喜びの声とともにビオトープの紹介をします。

宮園小ビオトープ 日本生態系協会賞受賞



宮園小学校ビオトープ(通称:くるりん村)は、2007年より毎年日本生態系協会から賞をいただいています。今回も受賞し、表彰式は2月2日にありました。表彰式に先立ち、秋篠宮殿下に宮園小学校のビオトープの取組を説明させていただく機会を頂戴しました。ビオトープをつくるきっかけとなった出来事、ビオトープの歴史、現在のビオトープの特徴、ビオトープと児童のかかわりなどを説明させていただきました。秋篠宮殿下からは、「くるりん村」の名前の由来やビオトープの施設などについて質問を頂戴し、お答えをしました。

ひびきあう いのち 2019
~くるりん村に来てみんさい!~
広島県甘日市市立宮園小学校 ホームページ [ぼくらのビオトープ](#) 検索

いのちの大切さを学ぶ

- くるりん村の紙芝居** くるりん村の歴史を学びます
- トンボ博士との学習** 標本をたくさん見せて頂きました
- ダイコンの収穫** 小さな種から育てたよ!
- 自由で遊ぶ子どもたち**
- キャベツの苗植え付け** モンシロチョウが来ますように
- 池の清掃** 子どもたちが頑張りました
- ホタルがやってきた** 2014年からヘイケボタルが自然にすみつき、毎年観察しています
- これなあに?** 生きもの採集と観察をします
- ミズカマキリです** 池や小川には、たくさん生きものがすみついています

くるりん村の風景

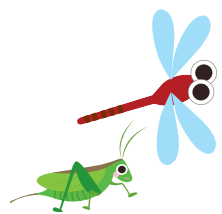
全国学校・園庭ビオトープコンクール2019で宮園小ビオトープを紹介したポスター

宮園小学校ビオトープ

宮園小学校のグラウンド内に「くるりん村」をつくり始めてはや17年。今では木々も大きくなり、四季折々の美しい風景の中、多くの生きものがすみつくようになりました。

自然に親しむ場として

「くるりん村」は、子どもたちが自由に自然と触れ合える場所です。休み時間や放課後に木々の間を走り回り、草花や生きものを探す姿が見られます。また、他ではなかなか体験出来ない水辺での遊びも楽しめます。



学習や体験の場として

毎年、3年生の「総合的な学習」の時間に生きもの採集や観察をしています。これは子どもたちの大好きな時間で、虫とり名人も増えてきました。チョウ、トンボ、バッタなどはもちろんの事、普段実物を見る事の少ない水生昆虫のヤゴ、ミズカマキリ、ゲンゴロウ類も手に取って身近に観察出来ます。6年前からは自然にすみついたヘイケボタルの乱舞も見られるようになりました。カブトムシやトンボについては専門の先生にお越しいただき、基礎からしっかり学習しています。広島県環境保健協会からも馬場田講師においでいただき、生きものつながりの事や環境保全の事などを子どもたちに分か

りやすく話していただきました。

また、畑ではジャガイモ、サツマイモ、ダイコンなどを育て、収穫の喜びも味わっています。

これからも続く活動

ビオトープでの活動を通して子どもたちが自然に興味を抱き、命のつながりやその大切さに気づき、さらには環境について考えてくれているのを目にすると大変うれしく思います。このような活動が他の地域にも広がっていくことを願っています。

皆様、季節感あふれる里山、「くるりん村」にどうぞ遊びに来てください。

(宮園小学校教頭・藤本真吾、
ふるさと宮園ビオトープの会・藤岡玲子)